



第161回 定時株主総会

2025年6月24日

株式会社トクヤマ

事業の経過及びその成果

世界経済

ウクライナ情勢や中東紛争による地政学リスクの高まり、世界的なインフレーションや原材料コストの高騰、国際貿易における緊張の高まりなどが重なり、不透明な状況が続く

日本経済

インバウンド需要の回復や企業の設備投資、賃上げ努力により景気はゆるやかに持ち直したが、物価高や金利上昇の影響により消費支出の低迷が続き、景気回復の力強さに欠けた

連結損益計算書

	当 期	前期比
売 上 高	3,430億円	0.3%増
営業利益	299億円	16.9%増
経常利益	295億円	12.5%増
親会社株主に帰属する 当期純利益	233億円	31.8%増

セグメント別の概況

- 化成品セグメント
- セメントセグメント
- 電子先端材料セグメント
- ライフサイエンスセグメント
- 環境事業セグメント

化成品 セグメント

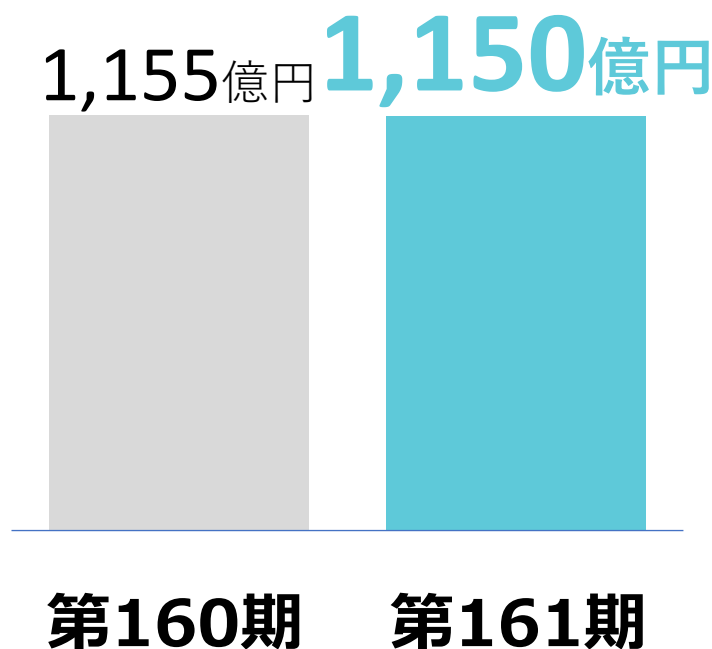
主要な 事業内容

苛性ソーダ、ソーダ灰、塩化カルシウム、
重炭酸ナトリウム、珪酸ソーダ、水素、塩化ビニルモノマー、
塩化ビニル樹脂、酸化プロピレン、塩素系溶剤等の製造・販売

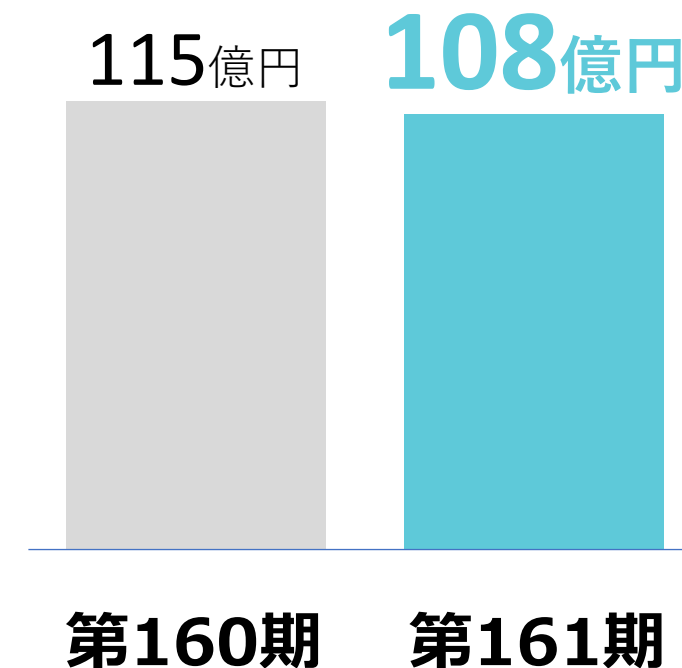
(当期の概況)

- 苛性ソーダ
 - ・ 輸出数量は増加したものの、
国内の販売数量が低調に推移したこと
等により減益
- 塩化ビニルモノマー・塩化ビニル樹脂
 - ・ 販売数量は低調に推移したものの、
塩化ビニル樹脂の国内販売価格改定を
進めたこと等より前期並み
- ソーダ灰
 - ・ 販売数量が減少したこと等により減益

売上高



営業利益



セメント セグメント

主要な 事業内容

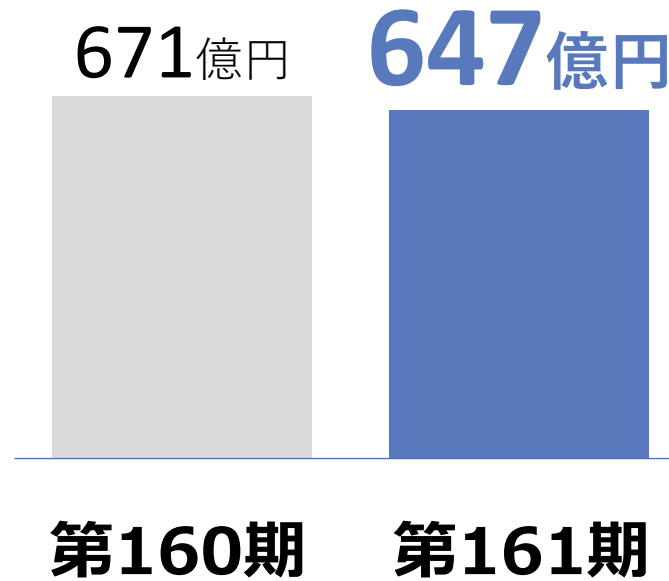
セメント、生コンクリート、セメント系固化剤等の
製造・販売及び資源リサイクル

(当期の概況)

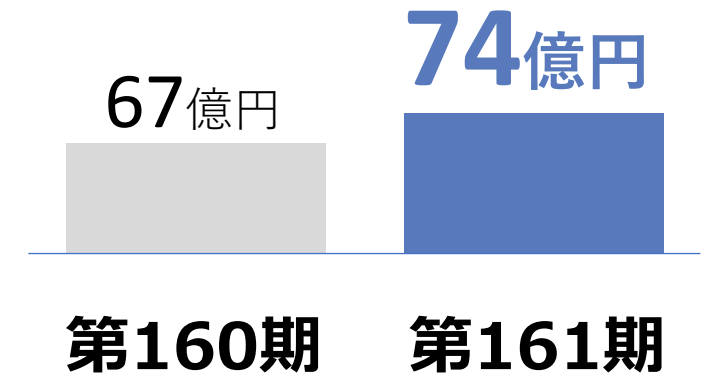
○セメント

- ・国内出荷は前期比で微減も、
適正な販売価格の維持、製造コストが
改善したこと等により増益

売上高



営業利益



電子先端材料 セグメント

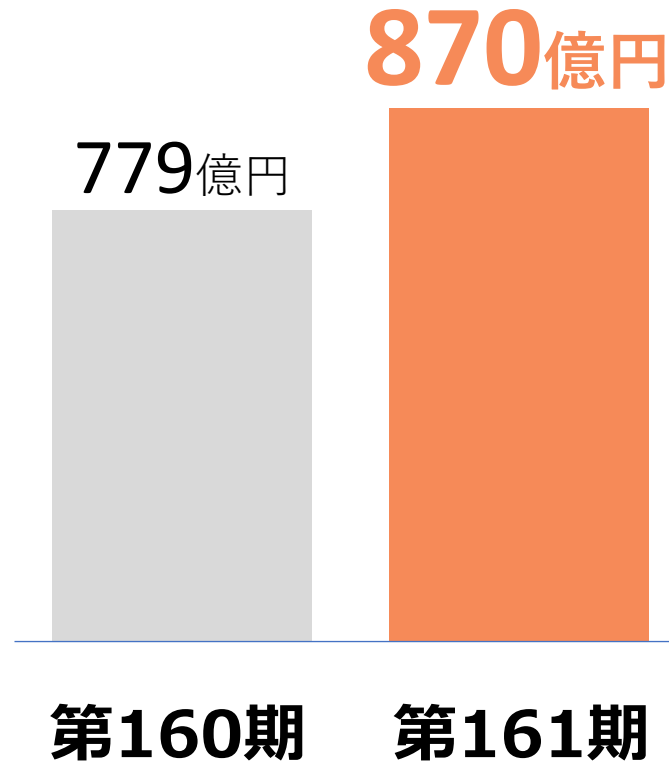
主要な 事業内容

多結晶シリコン、乾式シリカ、四塩化珪素、窒化アルミニウム、電子工業用高純度イソプロピルアルコール、フォトレジスト用現像液、工業用イソプロピルアルコール等の製造・販売

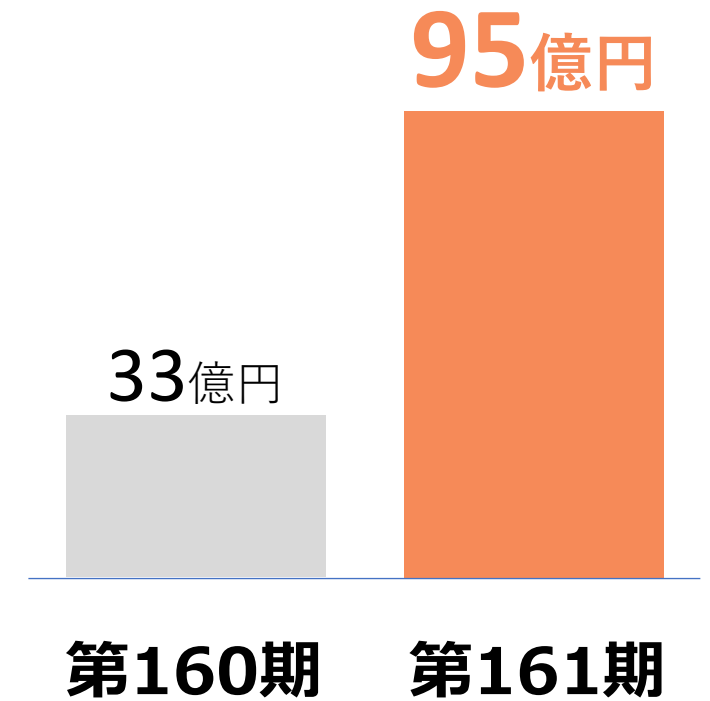
(当期の概況)

- 多結晶シリコン
 - ・販売数量が増加したこと等により増益
- ICケミカル
 - ・台塑徳山精密化学股份有限公司の稼働率向上等により収益改善
- 乾式シリカ
 - ・円安による為替の影響や徳山化工（浙江）有限公司の製造コストの低減等により増益
- 放熱材
 - ・半導体製造装置向けを中心に販売数量が増加したこと等により増益

売上高



営業利益



ライフサイエンス セグメント

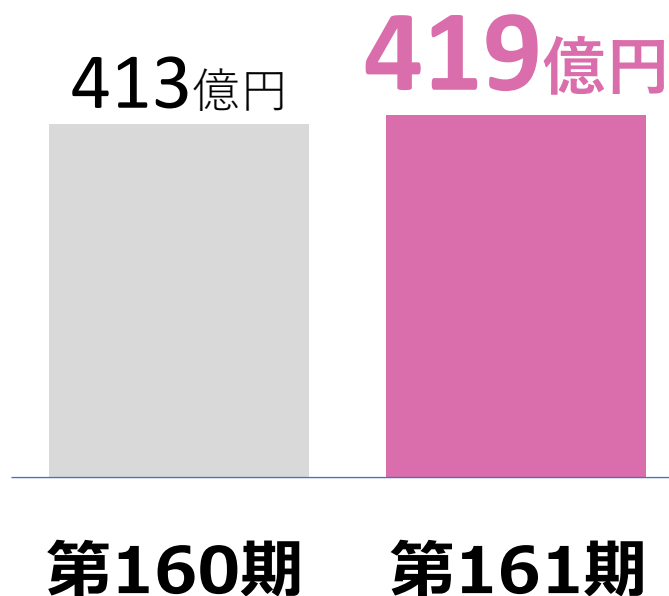
主要な 事業内容

医療診断システム、歯科器材、医薬品原薬・中間体、プラスチックレンズ関連材料、微多孔質フィルム等の製造・販売

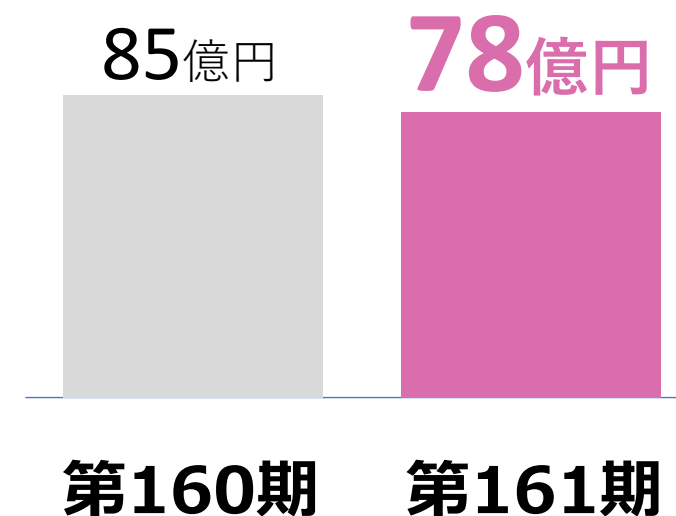
(当期の概況)

- 歯科器材
 - ・ 販売は前期並みだったが、販売費および研究開発費が増加したこと等により減益
- プラスチックレンズ関連材料
 - ・ 海外向けの販売数量が堅調に推移したこと等により増益
- 医薬品原薬・中間体
 - ・ 製品ミックスの変動等により減益

売上高



営業利益



環境事業 セグメント

主要な
事業内容

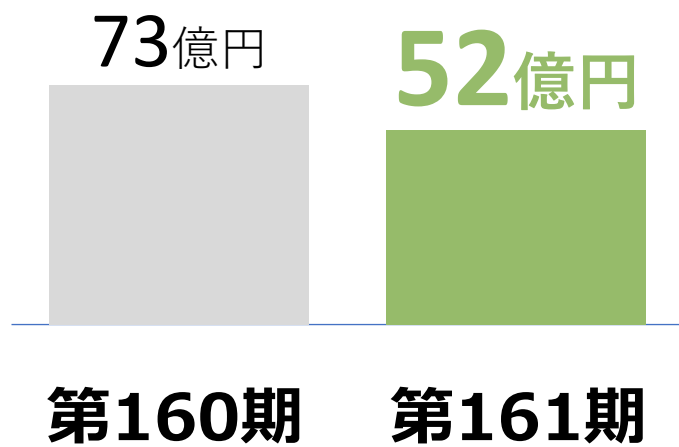
イオン交換膜等の製造・販売及び廃石膏ボードリサイクル

(当期の概況)

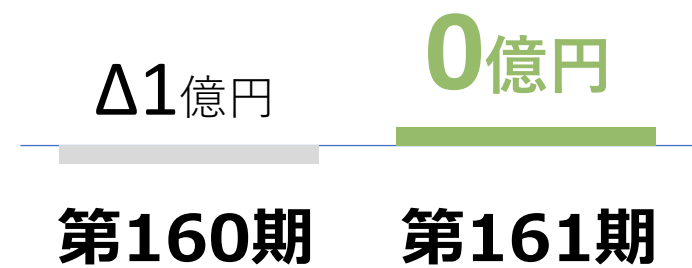
- イオン交換膜
 - ・出荷が減少したことにより減益
- 廃石膏ボードリサイクル
 - ・廃石膏ボード収集は堅調に推移したものの、製造コストが増加したこと等により前期並み

※樹脂サッシの製造・加工・販売を行う株式会社エクセルシャノンの株式の一部譲渡に伴い、前連結会計年度より、同社を連結の範囲から除外

売上高



営業利益



連結貸借対照表

資 産 4,762億円	負 債 2,023億円 純資産 2,738億円
--------------------------------------	---

資 産

前期比 188億円増

【主な要因】

- ・ 現金及び預金の増加

負 債

前期比 49億円増

【主な要因】

- ・ 社債の増加

純資産

前期比 139億円増

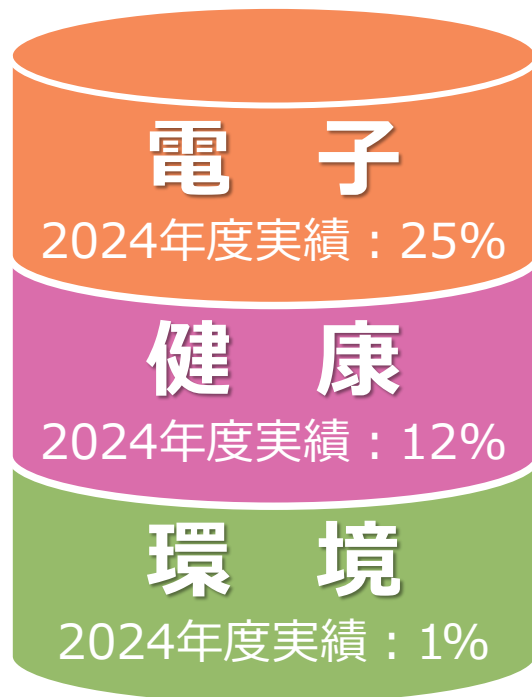
【主な要因】

- ・ 親会社に帰属する当期純利益の積み上げによる増加

対処すべき課題

事業ポートフォリオの転換

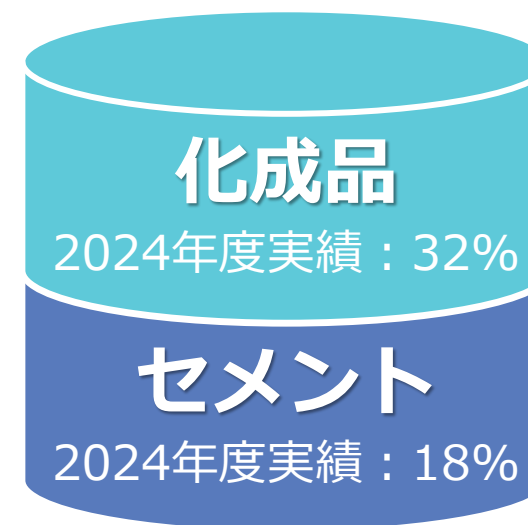
成長事業



2025年度

連結売上高比率目標**50%**以上
(2030年度には60%以上を目指す)

伝統事業



安定的に収益を確保

● ベトナムにおいて半導体用多結晶シリコンの製造販売子会社を設立



● マレーシアに韓国OCIグループと半導体用多結晶シリコンの半製品の共同生産を目的とした会社設立へ

将来の半導体市場拡大に伴う、多結晶シリコンの需要増加を見据え、半導体用多結晶シリコンの生産・供給体制の構築を推進していく。

● トクヤマデンタル 鹿島工場内に新棟竣工

歯科充填用コンポジットレジン需要が欧米を中心に拡大。ロボットや自動化システムを導入して人員増加を最小限に抑えながら供給拡大を図る。



● 使用済み太陽光パネルのリサイクルノウハウを持つ 株式会社鈴木商会と連携

北海道における使用済み太陽光パネルのリサイクル事業について、株式会社鈴木商会と連携することで合意し、NEDOと共同研究をしていた「太陽光パネル低温熱分解リサイクル技術」を活用した事業の実現に向けて取り組みを加速。

● バイオコーク技研株式会社と共同で 水素化マグネシウムの量産開始

水素化マグネシウムを製造するための反応器を徳山製造所に導入し、年産30トンを目標に量産開始。



● 水素化マグネシウム含有添加剤「ECOMAX」 販売開始

株式会社Beingと共同で製品改良を行い、株式会社トクヤマソーダ販売を通じて水素化マグネシウムを含有する石油燃料添加剤「ECOMAX」の販売を開始。

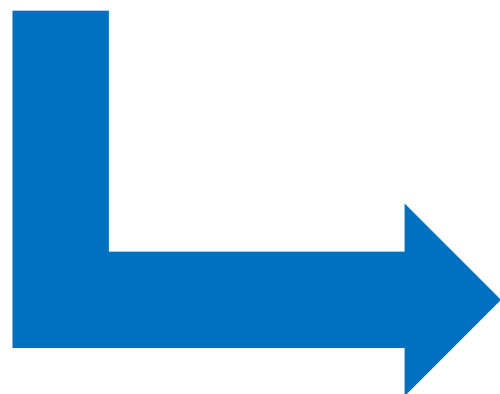


インドに販売子会社設立を決定

「電子」・「健康」・「環境」

成長事業のマーケティングを一層強化

「中期経営計画2025」に掲げる事業ポートフォリオ転換を
より確実なものに

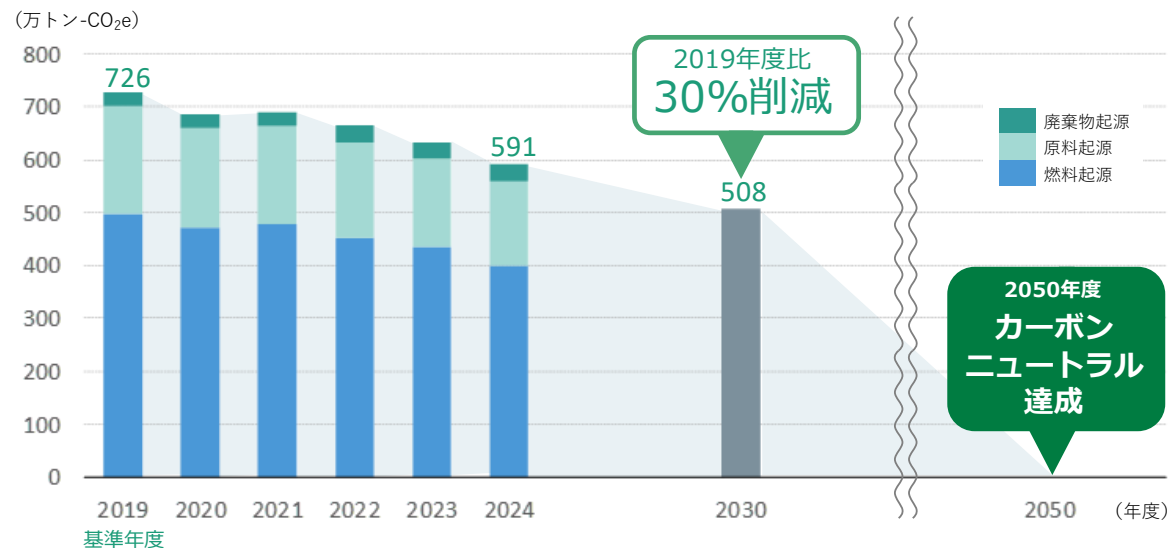


海外展開を加速

地球温暖化防止への貢献

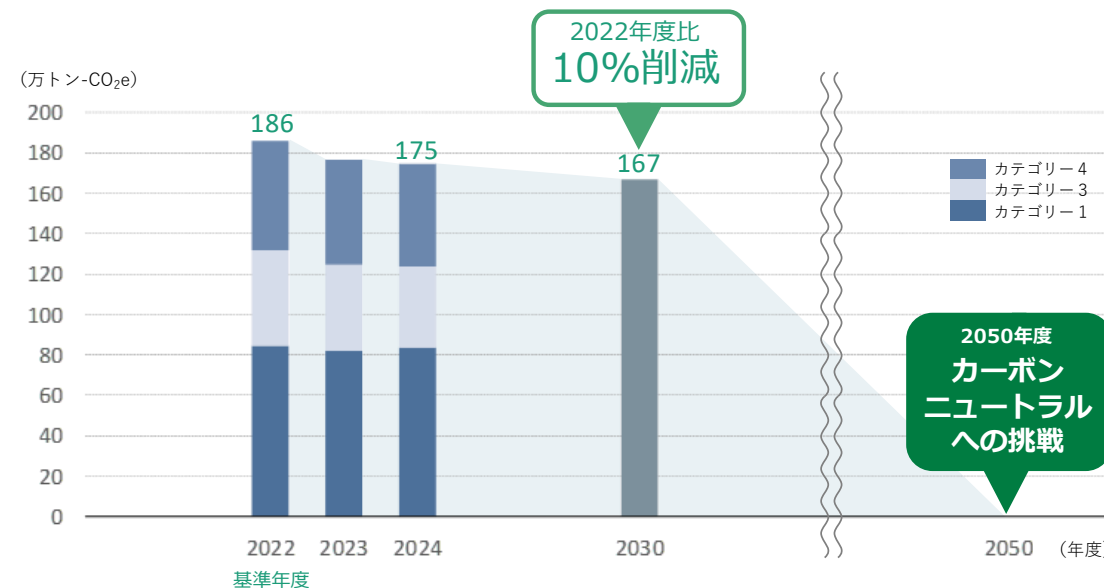
目標：2050年度カーボンニュートラル達成

GHG排出量（Scope 1, 2） 中長期削減目標



温室効果ガス GHG排出量
2030年度に**30%削減**
Scope1、2（2019年度比）

GHG排出量（Scope 3） 中長期削減目標（カテゴリ-1, 3, 4）



サプライチェーンのGHG排出量
2030年度までに**10%削減**
Scope3のカテゴリ-1、3、4（2022年度比）

2024年度温室効果ガス排出削減の取り組み

- バイオマス混焼のための設備改造（2025年秋に混焼開始を予定）
- カレット製造における燃料転換の検討開始
- ソーダ灰製造における低炭素化プロセスの開発
- セメントなど材料由来のGHG排出量を実質ゼロとした環境配慮型の、歩道用舗装材「バイオ炭インターロッキングブロック」の開発
- 燃料アンモニア混焼についての事業性検討

環境に配慮した生産活動および
CO₂をはじめとするGHG排出削減を推進

存在意義

化学を礎に、環境と調和した幸せな未来を顧客と共に創造する

トクヤマのマテリアリティ

環 境	地球温暖化防止への貢献	社 会	地域社会との共存、連携、貢献
	環境保全		CSR調達の推進
保安防災	無事故・無災害		人材育成
技術・品質	社会課題解決型製品・技術の開発		多様性（ダイバーシティ）と働きがいの重視
	化学品管理・製品安全の強化		心と体の健康推進

「心と体の健康推進」への取り組み



健康経営銘柄
3年連続で選定



健康経営優良法人
「ホワイト500」
4年連続で認定

「ESG」への取り組み



FTSE Blossom
Japan Index
初めて選定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index
引き続き選定

その他企業集団の 現況に関する重要な事項 (後発事象)

その他企業集団の現況に関する重要な事項（後発事象）

本年4月22日開催の取締役会において、JSR株式会社が設立予定の新会社の全株式を取得し、子会社化することを決議。また、同日付で株式譲渡契約を締結。

【事業内容】 体外診断用医薬品事業
体外診断用医薬品材料事業
株式管理事業

その他企業集団の現況に関する重要な事項（後発事象）

- ・ 当社は、完全子会社である株式会社エイアンドティーにおいて体外診断事業を展開するとともに、新規体外診断薬の創出に向け研究を進める。今後更に健康分野の成長を加速させることが必要と認識
- ・ 粒子や抗体を用いた免疫試薬を製品化する能力を補完できることで、開発期間の大幅な短縮と当社基礎技術とのシナジーが期待され高収益の試薬ビジネスを早期に構築

【企業結合日】 2025年10月1日（予定）

【取得価額】 820億円

【支払資金】 自己資金および有利子負債による調達を予定

決議事項

第1号議案

剰余金の処分の件

配当金について

		前期	当期
中	間	35円	50円
期	末	45円	50円
年間合計		80円	100円
剰余金の配当の 効力が生じる日		2025年6月25日	

第2号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）
4名選任の件

取締役候補者（監査等委員である取締役を除く。）

候補者番号

氏 名

1

再任

横田 浩

2

再任

岩崎 史哲

3

再任

井上 智弘

4

新任

谷口 隆英

取締役（監査等委員である取締役を除く。）



横田 浩



岩崎 史哲



井上 智弘



谷口 隆英

第3号議案

**監査等委員である取締役
7名選任の件**

監査等委員である取締役候補者

候補者番号

氏 名

1

再任

宮本 陽司

2

新任

末岡 和正

3

再任

水本 伸子

4

再任

石塚 啓

候補者番号

氏 名

5

再任

近藤 直生

6

新任

斉藤 史郎

7

新任

梶原ゆみ子

監査等委員である取締役



宮本 陽司



末岡 和正



水本 伸子



石塚 啓



近藤 直生



斉藤 史郎



梶原ゆみ子

もっと未来の人のために

